

平成28年5月13日
教育課程部会 社会・地理歴史・公民
ワーキンググループ
資料8-2

現行歴史系A科目

資質・能力

新必修修科目「歴史総合（仮称）」

世界史A

- 1 世界史へのいざない
- 2 世界の一体化と日本
- 3 地球社会と日本

関連付け

日本史A

- 1 私たちの時代と歴史
- 2 近代の日本と世界
- 3 現代の日本と世界

社会的事象等の歴史的な見方や考え方を右の資質・能力を育む

○世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史の理解

○諸資料から情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能

○諸事象等の意味や意義、特色

世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察する科目

や相互の関連について、概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、現代的な課題を把握し、その解決に向けて構想したりする力

○現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史について主体的にわかろうとしたり、持続可能な社会を視野に入れて、世界や日本の在り方について意欲的に追究しようとする態度

○ 歴史の扉

中学校社会科の学習を振り返りながら、例えば近世の日本・アジアを取り上げ、歴史を学ぶ意義や歴史の学び方について考察する

○ 近代化と私たち

産業社会と国民国家の形成を背景とした人々の生活や国際関係の変化を扱い、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史の諸事象について考察する

○ 大衆化と私たち

大衆社会の形成を背景とした人々の生活や社会の在り方の変化を扱い、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史の諸事象について考察する

○ グローバル化と私たち

グローバル化する国際社会を背景とした人々の生活や社会の在り方、国際関係の変化を扱い、現代社会を理解し、持続可能な社会の在り方を展望する

現代的な諸課題につながる歴史的な状況(例)

「自由と制限」
「富裕と貧困」

「対立と協調」

「統合と分化」
「開発と保全」
など

取り上げることが考えられる題材

産業/市民革命、近代科学、立憲政治、資本/社会主義、明治維新、政党政治、国民国家、国民文化、ジャポニズム、消費社会、マスコミ、移民、帝国主義、総力戦、植民地、大正デモクラシー、国際協調、世界/昭和恐慌、ファシズム、冷戦、地域紛争、地域統合、民族主義、難民、高度経済成長、多国籍企業、市場経済、ポップカルチャー…など

【参考】

- ・現行中学校社会科の歴史的分野の学習では、我が国の歴史の大きな流れの理解をねらいとしている。(各時代の特色を捉える学習他)
- ・歴史の大きな転換に着目し、単元の基軸となる問いを設け、資料を活用しながら、歴史の学び方を習得する。
- ・考察を深める問いについては、取り上げる時期を広げて設定したり、多様な地域を視野に入れて設定することが考えられる。